

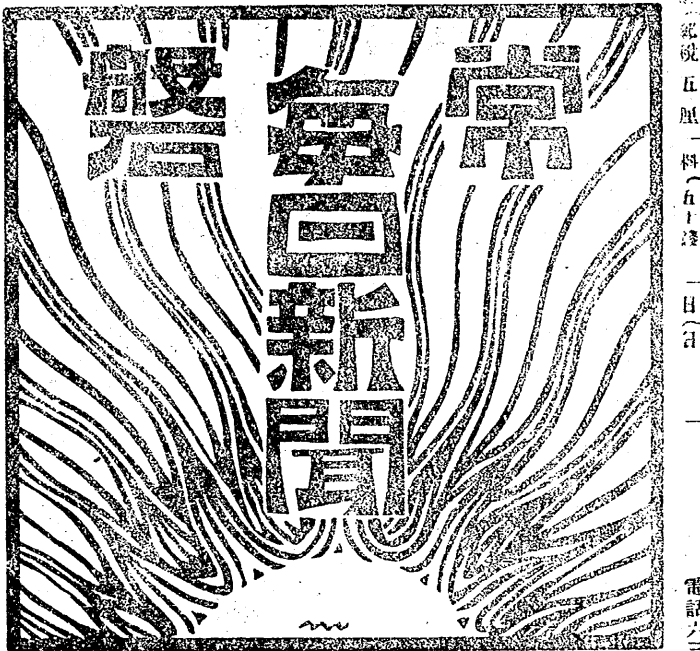
代價拾錢 藤田家傳
藤田家傳
平町町電話三三八番

三月雛人形
小道具一式
景品附大賣出し
平二丁目
いづや
電話六四九番

赤心堂
病院
平町田町
電話四七九番

長徳食品
所米精肉関
寄(六)呼話(町橋)平小
マシタイ達(速)早ズラハ拘(少)多ハ文(日)御
スマ(類)シ(試)御(ハ)非(是)

京都産出瓦斯販賣 有聲座降
コクワ特約販賣



常新新聞
一、五、十、二十、三十、四十、五十、六十、七十、八十、九十、百、百五十、二百、二百五十、三百、三百五十、四百、四百五十、五百、五百五十、六百、六百五十、七百、七百五十、八百、八百五十、九百、九百五十、千、千五百、二千、二千五百、三千、三千五百、四千、四千五百、五千、五千五百、六千、六千五百、七千、七千五百、八千、八千五百、九千、九千五百、一萬、一萬五千、二萬、二萬五千、三萬、三萬五千、四萬、四萬五千、五萬、五萬五千、六萬、六萬五千、七萬、七萬五千、八萬、八萬五千、九萬、九萬五千、十萬、十萬五千、二十萬、二十萬五千、三十萬、三十萬五千、四十萬、四十萬五千、五十萬、五十萬五千、六十萬、六十萬五千、七十萬、七十萬五千、八十萬、八十萬五千、九十萬、九十九萬五千、一百万

本行編輯人 川崎文治
本社同番地(電話六三〇番)
印刷所 常野毎日印刷所

◆小店員募集◆
十二歳以上数名
「経験の有無を問はず誠實熱心なる奮闘
兒を優遇す」
◇鹽賣捌売物雜貨商◇
境屋久野柳助
平町一丁目 電話一五〇番

貯金獎勵に就て

今更ら言ふ迄もなく人生最大の幸福を得んとするには
零碎よりの貯蓄に待たず外はないと思ひます。弊店
は皆さんに貯金を御奨めする意味に於て左の方法を提
供致します
一、酒二合以上一升以下現金にて御買上の御方様に對
し弊店の引換券一枚差上ります
一、酒以外の品物にて同様に引換券差上ります
一、空徳利御邪魔の時は御子供さんに御届け下されば
本に引換券一枚差上ります
一、引換券拾枚御持参の御方様に御苦勞賃として更
に引換券二枚差上ります
貯金方法
一、引換券拾枚以上たまり弊店へ御持来下されば郵便
局の局長が出張致しまして領收押を押し貯金通
帳を御本人に御渡しするのであります。一日何回
でもかまいません
引換券を利用して簡易生命保険に加入する事も出
来ます
一、満拾貳歳の人か簡易保険に加入し一月十錢つゝ
かければ終身すれば六拾貳圓貳拾錢とれます
一、終身の拾年拂込ならば貳拾六圓六拾錢とれます
一、拾五年拂込ならば拾貳圓貳拾錢とれます
一、貳拾年拂込ならば拾圓貳拾錢とれます
(養老なれば)

玉川屋酒店
紺屋町 電話六五番

一、貳拾年満期 貳拾參圓貳拾錢
一、貳拾五年満期 貳拾四圓七拾錢
一、三十年満期 三拾六圓 十錢
一、三十五年満期 四拾一圓 十錢
一、四十年満期 四拾七圓 十錢
一、四十五年満期 五拾一圓 十錢

尙右の外五半以上掛けたものは保險金の外に割戻金が附きます
其の外据貯金も有りますから委しい事は局長の御方と
御相談下さい (渡しに舟) 發表の日よりいつまでも
實行致します

常警論壇
減び行く
農村を前に

在 京 國 會 仙 次 郎
商工業は頻りに隆昌し、都
市は始に際限なく繁榮し、
政治、經濟、教育、宗教、
其の世事萬端都市を中心
として現代文明の一大特徴
を呈し、而も此の特徵の其
の色彩濃厚にして行くに
反比例して農業は寧ろ其の
困難を加へて行く観がある
のである。即ち商工業者は

あん餅で
東北一...
鐵道省御用舖
花澤四良司菓子店

吉田屋染工場
平町五丁目
電話五五八番

生徒募集
和服一般教授
持設夜間教授
生花茶ノ湯
作法隨意
▲自炊ノ便アリ
▲設備吉田屋呉服店向
阿部裁縫塾
電話二四六番

加藤營業所
平白銀町十五番地
振替口座仙臺六二四三番
電話三三番二五五番

正確 体温器
寒熱計 関内藥局
電話四〇番

美 西花草種子
スズトピー、矢車草
勿忘草、アスター
その他五十數種入荷致
しました是非早くお
求の下さい
一袋金拾錢

勤勉努力數年にして資産の
所有者となる者稀ならざる
に對し農業に於ては如何程
辛苦請動しても相當に殘
たる者少く、此に據り近代農
村の町人化を求むるに迄保
守的に固執し従順であつた
農民も極度の窮乏と教育の
普及交通通信機關の發達等
に依り自ら争ひふもを社
會的考へ、是を忍ぶ
其何、ま、是を忍ぶ
甘んぜず日含、見切つて部
門、向つて流れると同時
に田舎殘留の人々の間には
其の時弊救済の爲めに種々
な運動が表れ來つたのであ
る。即ち外に米價維持又は

冊代金
御希望の通り
五冊 雜誌
自由 讀
川崎 文庫
電話六三〇番
(中人次規則書参照)

明晩 決行

◇列行燈行◇ 告に者加參

櫻化時の賑しさを高調せしむる爲の種々お
手数を煩しまた本社主催の「懸賞廣告
行燈行列」は愈々明日十四日開催さるゝ事と
なりました、就きましては御出場に關する
二三の御注意を申し上げます、先
づ午後六時に煙花を打ち揚げますのを合圖
に直ちに出場準備をして戴きまして遅くも
同六時半迄には新川端に御集合願ひ上げま
す、そして尼子橋畔から順次到着順に整列
を爲し直ちに出發する事に致す豫定です、
行列の進行途中に思ひ付きの廣告ビラをお
まきになるのは御自由です、また行燈を擔
ぐ方やそれに伴ふ方々が假裝を爲さるの
御隨意におまかせします、従つて鈴とか太
鼓とか其他鳴物を御持參なさる事は一層行
列に賑しさを添ふる意味に於て寧ろ當方から望む所
です、行列の進行は當方の指揮者に依る事となし
若し途中で行列から離脱する様な参加者があれば夫れ
は棄權者と見なして新川端へ到着してからの電燈點火
の責を負へませんと同時に懸賞の審査から除かれます
尚ほ雨天の際は翌日に延期します 以上

本社の行燈行列は 愈よ明日決行さる

美々しい擔ぎ屋臺を先登に
灯の波全町に漲る
櫻の平町をして無類飛び切
りの賑しさを呈せしめずん
ば止まずと爲して本社の企
てた「懸賞廣告行燈行列」
は各方面より多大の期待を
受けてゝ愈々

明日決行 さるる事
となつた、先づ午後六時を
期し各参加行燈に出場準備
の號砲を打ち揚げる、是れ
と同時に各行燈は尼子橋畔
から新川端を東へ到着順に
整列し同六時半迄に出發の
氣を灯す事になるのである

笛太鼓の 音賑やか
な囃子を先頭として除々に
長橋町から繰り出し既報の
如き順路に依つて全町を練
り廻し花時の人氣を彌が上
りにも吹つて新川端に到着し
参加者に夜食を饗して各行
燈を其處に建て向ふ四晚電
氣を灯す事になるのである

祖先傳來の無稅 耕作地近く整理

石城郡内には三坂村を筆頭
に總面積廿余町歩にわたる
無稅の耕作地あり主として
山と山との間にある傾斜地
もしくは谷間を開拓したも
のでいはゞ祖先傳來の耕作
地といつても可い

正當の 手續きをな
さず勝手無断に開拓し無稅
のまま耕作してゐるものであ
る、これに對しその筋でも
いつまで放任しておけない
しかつ近く處分の必要があ
る

村役場 を經て通牒
を發するはずである拂下げ
價格も隣接地の買價價格を
調査し年來の事情をも參酌
して幾分か低廉に査定する
が從來國有地といへば普通
民有地の二分の一ないし三
分の一といふ
法外な 安値を一般
世人は豫想してゐるが今後

各参加者 自身も非

常な張り込みで我れこそは
一等賞の榮冠を擔はんや
H來行燈の考案に餘念なく
殊に種々滑稽な假裝等に浮
身をやつして居る向も多
い
と同時に行列を好機に自己
商店の紹介に努めんと仕々
に振りまく宣傳ビラを注意
し腕により掛けて當夜を
待ち構へ て居る模
様で近郷近在より見物の人
も多く灯の海人の波を現出
する明夜の平町は蓋し平町
に花あつて以來の般賑を見
る事であらう

臨時列車を

平町來間に
平町松ヶ岡公園の櫻は十
五六日頃から丁度今週の日
曜(十八日)が見頃であつて
殊に新裝を凝らした本年の
入出は近年にない難路を豫
想され中驛では同花期中同
地勿來間に五回の臨時列車
を運轉の筈で近く東京鐵道
局の認可あり次第時刻發表
運轉する事になつた



白酒の風味
白酒の香味を一層良くする

教育 觀櫻會

平町教育關係者懇親會は十
五日午後三時より良善寺境
内にて觀櫻會を催す由であ
るが若し雨天の際は警女校
に會場を變更し會費一圓廿
錢である

石城七濱で 鯉と鯛が當る

縣下第一の漁業地である石
城七濱の十四年度水産漁獲
高を見るに遠洋漁業に屬す
る沖曳流網等によるもの
鯉 七三二、三一八圓
鰯 一三三、〇八二圓
秋刀魚 二八五、三三七圓
其他合計一、四五三、四二八
圓の巨額に達してゐるまた
近海漁獲高は
鯛 二四四、八八六圓
鰯 一〇五、六一〇圓
鯉 一一〇、六一〇圓
貝類 二七、八一〇圓
其他計 七〇、三五六圓
となり秋刀魚は前年の三十
四萬四千餘圓に比し七萬圓
の減額となつたけれども鯉
は十一萬二千圓また豊間の
大數網が大漁であつたため
爲めに、レモンの輪切りに
したものを少量にその中に
漬けて置くとか、オレンヂ
エッセンを一二滴たらすと
小すると更に良いです白酒
は酒と云ふても普通の酒の
様にガブ(飲む)ものでは
なく、ホンの盃に一二杯位
用ゆるもので、その中に含
まれて居る糯米の爲めに味

伊東氏の 博覽會成功

平町の伊東一氏は昨年平町
に勸業博覽會を主宰して成
功し引きつゞき青森市に同
様の催しをなしたが更に今
回同氏は横須賀市に三笠保
存記念勸業博覽會を開催すべく
同市大瀧町開幸閣に本部を
置き去る一日地鎮祭を執行
目下準備中にして來月廿日
より二ヶ月間開催の豫定で
之れが終了すれば直に横濱
市長を會長、戴き同市公園
に衛生博覽會を開く豫定で
ある

偽百圓の女

石城郡内郷村大字宮飲食店
高萩はる方抱酌婦西白河郡
白河町七番地とめ長女齋藤
たき(三)は此程前借五百
圓を踏倒し逃走したが仙臺
方面に潜伏してゐるらしく
懸賞百圓で目下捜索中であ
るが同女は昨年九月頃茨城
縣北相馬郡種土井驛前丸屋
旅館の前借金を踏倒し味を
こめてから各地の料理店に
同様の詐欺を働き桂庵の
黒表に載つてゐる酌婦だと
いふのが同十二月十三日土浦
區裁判所にて齒科醫師法達
反により罰金三百圓に處分
された中島良太郎と共謀し
てゐるらしいと

行燈行列の審査員

本社主催「懸賞廣告行燈行列」の審査員は参加行燈五
個以上の申込者中より五氏を選み高野平商教頭を加へ
左記六氏に是れを囑託する事となつた(但し審査員は
自己出陳の行燈に採點せざるは勿論である)

- 平トシボ會 金成泉一郎
- 平商業學校 高野秀松
- 警城銀行 草野順平
- 山崎合名會社 山崎清三
- マツモトヤ 松本貞雄
- 釜屋商店 諸橋守次

以上いゝは願

石城郡内には三坂村を筆頭
に總面積廿余町歩にわたる
無稅の耕作地あり主として
山と山との間にある傾斜地
もしくは谷間を開拓したも
のでいはゞ祖先傳來の耕作
地といつても可い

平公園の
電話使用數
益々増す一方
本社主催行燈行列開催當
日の爲め明紙休刊します
から御諒承願ひ上げます
電話は十日より設置された
が其通話數を見るに十日は
初日の事として市内一通のみ
十一日は市内十二通市外二
通十二日は市内三十五通市
外二通であつたと

本紙明日休刊
本社主催行燈行列開催當
日の爲め明紙休刊します
から御諒承願ひ上げます
電話は十日より設置された
が其通話數を見るに十日は
初日の事として市内一通のみ
十一日は市内十二通市外二
通十二日は市内三十五通市
外二通であつたと